

事例を元にした場所別改修ポイント 《トイレ》

トイレは一日に何度も使う場所ですが、旧い家では狭いなど使い勝手の悪い場合がほとんどです。足腰の弱くなった人には、かがむ・用をたす・立ち上がって手を洗う・・・といった複雑な行動は難しく、転倒して怪我をする危険性もあります。体が悪くなった時に、最も緊急を要する改修場所だとも言えるでしょう。

実際に改修工事の依頼も多く、身体状況や建物内の配置・面積などによって、様々なプランをご提案しています。その事例の中から少しご紹介しましょう。



△移動に不便がある場合は、横型手すりで補助します。

△広いトイレには、移動のために、横型手すりを両壁に出入口から便座まで設置します。

△立ち上がりにも不便な場合は、補助のための縦型手すりと対になったL型手すりを設置。

▽姿勢が安定しない場合は、体を囲うように手すりを設置します。



△手前を広くとり、扉が両方から開くように設置すると介助しやすくなります。扉は引き戸で段差がないようにすると、足腰や手の悪い場合に安心です。



△広いトイレは介助も楽。ペーパーホルダーなどが手すりの役割を果たしています。



シミがついてしまったら！

シミには大きく分けて水溶性と油性があります。基本的に水溶性のシミは水と中性洗剤で、油性のシミはベンジンと中性洗剤で落とします。

時間がたってしまうと何のシミかわからない時は水を一滴たらして水が布地にしみ込めば水溶性、はじいて水滴になれば油性のシミです。



有限会社エフビー

神戸市兵庫区小松通5丁目2番9号
☎ 078-681-1467 fax 078-681-1477

代表 大熊 智己